

ジャパン・ハウス巡回企画展第5期の公募

2021年5月
外務省 戦略的対外発信拠点室

ジャパン・ハウス巡回企画展は、ジャパン・ハウスが実施する展示の中でも、日本で公募し、審査により選定した展示企画で、各拠点を巡回する企画展です。展示を通して「日本とは何か」という大きな問いに対する答えを様々な視点から提示し、海外の方々に日本の持つ魅力に出会っていただくことを目指しています。

募集する企画：日本を紹介する「もの」や「こと」を「展示企画」としてキュレーションした企画を、あらゆる領域から受け付けます。「いかに日本を知らなかったか」に目覚めてもらう場として、日本への興味と共感を誘う企画力と発信力を備えるものであれば、伝統、ハイテクノロジー、芸術、デザイン、工芸、大衆文化、食、社会貢献など、ジャンルを問いません。

応募資格： 1. ジャパン・ハウスの趣旨をご理解いただき、それに沿って活動いただける方
(個人、グループ、企業、国籍問わず)

2. 採択された際、ジャパン・ハウス各拠点において企画の実現が可能な方

応募締切： 2021年8月12日(木) 18:00

詳細 URL： <https://www.japanhouse.jp/news/touringExhibition5.html>

ジャパン・ハウス巡回企画展審査委員会

(議長) 原 研哉 ジャパン・ハウス東京事務局クリエイティブ・アドバイザー
株式会社日本デザインセンター代表取締役社長

(委員) ※50音順

(1) 伊東 正伸	独立行政法人国際交流基金文化事業部長
(2) 内田 まほろ	キュレーター、日本科学未来館展示スーパーバイザー、 東日本旅客鉄道株式会社 事業創造本部 文化創造施設プロジェクト準備室長
(3) 小島 レイリ	芸術・文化コンサルタント、株式会社羽田未来総合研究所アート&カルチャー事業部長
(4) 塩谷 陽子	ジャパン・ソサエティー (在ニューヨーク) 芸術監督
(5) 田川 欣哉	株式会社Takram代表取締役/デザインエンジニア、英国ロイヤル・カレッジ・オブ・アート名誉フェロー
(6) 南條 史生	森美術館特別顧問
(7) 橋本 麻里	ライター、編集者、公益財団法人永青文庫副館長
(8) 藤森 照信	建築家、建築史家、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館館長

ジャパン・ハウス巡回企画展（第1期）

3拠点を巡回する展覧会企画。 ジャパン・ハウスのブランディングの観点から、本邦で公募・選定。

●第1期（2016年募集）



TAKEO PAPER SHOW SUBTLE
一かすかな、ほんのわずかの

紙が繊細なのではない。紙が掘り起こした人の感覚こそが繊細である。日本人の紙に対する繊細な感受性や独自の文化に息づく美意識を、紙という媒体を介して探り出す試み。

企画者：株式会社竹尾

	サンパウロ	2017/7/29～9/10	101,453人来場
	ロサンゼルス	2018/4/13～5/23	16,897人来場
	ロンドン	2018/11/13～12/24	56,289人来場

174,639人来場



藤本壮介展 未来の未来
Sou Fujimoto: FUTURES OF THE FUTURE

「誰もまだ知らない未来の建築とは、どんな姿をしているのだろうか？」-「未来の種」を感じさせる模型の森。未来の都市環境や住環境を空想し、創造していく場が生まれることが期待される。

企画者：TOTOギャラリー・間

	サンパウロ	2017/11/21～2018/3/4	171,022人来場
	ロンドン	2018/6/22～8/5	88,035人来場
	ロサンゼルス	2018/10/27～2019/1/6	37,170人来場

296,227人来場



Prototyping in TOKYO

生き物のようなふるまいを見せるロボット、新時代の製造技術がもたらす不思議な手触り、人体拡張装置としての義足などがスケッチや試作品と共に展示され、東京大学山中研究室の思考プロセスとものづくりが絵巻物のように展開する。

企画者：東京大学生産技術研究所 山中研究室

	サンパウロ	2018/3/27～5/20	94,102人来場
	ロサンゼルス	2018/8/17～10/10	47,855人来場
	ロンドン	2019/1/16～3/17	111,546人来場

253,503人来場

ジャパン・ハウス巡回企画展（第2期・第3期）

●第2期（2017年募集）



浦沢直樹展 ー漫画という芸術ー

This is MANGA - the Art of NAOKI URASAWA -

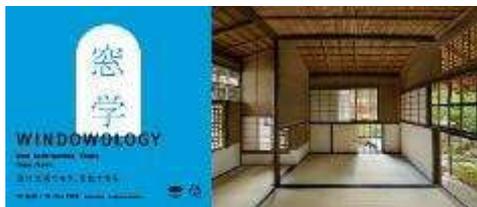
グラフィックとストーリーの融合芸術、漫画。漫画家：浦沢直樹氏の作品から見える日本と漫画文化の体験を、来場者に提供する試み。

企画者：読売新聞社

	ロサンゼルス 2019年1月23日～3月28日	36,571人来場
	ロンドン 2019年6月5日～7月28日	74,937人来場
	サンパウロ 2019年10月29日～2020年1月5日	133,328人来場

244,836人来場

●第3期（2018年募集）



窓学 ー窓は文明であり、文化であるー

Windowology: New Architectural Views from Japan

写真、漫画、工芸、テクノロジー、建築などさまざまな切り口から「窓」について紹介する展覧会。窓が果たす役割に加えて、窓自体が文化を映し出すものとして、日本の文化に新たな眼差しを向ける。

企画者：公益財団法人 窓研究所

	ロサンゼルス 2020年10月24日～2021年1月3日 ※オンライン展示/バーチャルツアーのみ公開(引き続き公開中)	
	サンパウロ (日程未発表)	
	ロンドン (日程未発表)	

ジャパン・ハウス巡回企画展 (第4期)

●第4期 (2019年募集)



KUMIHIMO: The Art of Japanese Silk Braiding by Domyo

組紐をテーマに、一条の紐に宿る魅力、潜在的な可能性を明らかにする展覧会。復元作品のアーカイブから紹介する歴史的展開、数学・工学系研究により導出される構造的特徴、そして現代のファッション、アート、建築など多彩な分野で活躍する才能と組紐の協働を総合し、古くて新しい組紐の魅力を伝える。

企画者:株式会社道明

シンビオシス:生きられた島 犬島からのアートとエコロジーの提案

瀬戸内海の犬島で2008年から進められてきたアートとランドスケープのプロジェクトを紹介する展覧会。高齢化がすすんだこの小さな島における活動を、地方活性化やエコロジーなどの視点から問いかける。アート、建築、さまざまなプログラムと、内外の人々との交わりから導かれる日本的な共生の美学を世界に発信する。

企画者:Hasegawa Lab & SANAA

JAPAN WAVE 2020 (仮)

昭和期の経済成長を背景に、欧米諸国とは全く異なる独自の発展を遂げた日本のイラストレーション。現代および未来に活躍するクリエイティビティを結集し、日本のサブカルチャー文化の核ともなりうる今日のイラストレーションの魅力の世界へ伝える展覧会。

企画者:ヒロ杉山 高橋キンタロー